

株式會社
博文館印刷所

東京市東區本町一丁目一〇番地

No. _____

會計狀態も會計長お木氏の力に依りて些の遺漏なく基金の蓄積は非常に困難を感じ現在の基金は三百有餘円にして其の労働者相互の血汗の結晶にして徳一文たるともブルジョアの厄介となるが又所謂政黨政治に偏すが皆労働を續けつし首脳部負々の職責を果し能く今日あるに至りたるも去る六月一般経済界の不振に藉に資本金は會に最も重きをなす副會長を蔵首に後継幹事長竹田氏を蔵首に次で幹事長を梅原根本氏、大工原、その他諸氏を蔵首にたすべく戸川會長は辞任せざる可なり立場となり

月 日